

2015 年度事業報告

特定非営利活動法人兵庫障害者センター

1 事業の成果

障害を持つ人とその家族は、福祉度や年金についてなど多くの情報を必要とし、身近に相談できる場所を探しています。特に兵庫障害者センターでは、毎月定例として弁護士、社会保険労務士など専門の相談員が相談活動を無料で行い、障害をもつ多くの人たちの支えとなっています。電話による相談も増えています。また、平日も必要に応じて相談を受けているので、患者・家族の心のよりどころとなっています。

“障害者権利条約”が批准されて2年になりました。私たちは障害者の権利を守るために、2015年度は障害者の生活と権利を守る学習会を開き、学びました。

「災害と障害者のつどい」を連続して開催し、要援護者に対する支援体制について自治体アンケートを実施しました。結果を見ると、自治体の備えに対する考え方が向上してことを感じます。

障害者団体の活動を支援する場所としての事務所・会議室の活用も成果があり、団体間の情報交換の場として役立っています。さまざまな障害者とその家族のための支援活動は着実に成果を上げていきます。

2、特定非営利活動に関する事業

(1) 医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する相談助言と支援事業

日 時	相談者	相談内容	対応者
2015年4月9日	障害者と家族 6名	くらしと法律、年金、学校事故保障裁判のこと	社労士、弁護士他
2015年5月13日	障害者と家族 3名	障害年金、生活保護、	社労士、実務者
2015年6月13日	障害者と家族 12名	生活保護、障害年金、事故保障裁判のこと、医療的ケアの必要なこの学校生活	社労士、弁護士
2015年7月11日	障害者と家族 6名	生活保護、しごと、年金	弁護士、社労士他
2015年8月8日	障害者と家族 5名	くらしの保障年金、生保	弁護士、実務者他
2015年9月12日	障害者と家族 3名	年金受給のこと	社労士、弁護士他
2015年10月10日	障害者と家族 1名	くらしと法律	弁護士、社労士他
2015年11月14日	障害者と家族 2名	障害年金、就労問題など	弁護士、社労士他
2015年12月12日	障害者と家族 2名	障害年金	弁護士、社労士他
2016年1月9日	障害者と家族 1名	年金、就労	弁護士、社労士他
2016年2月13日	障害者と家族 8名	年金、移動支援の時間の問題、生活保護	弁護士、社労士他
2016年3月12日	障害者と家族 8名	家賃の問題、年金のこと、障害者手帳の取得など	弁護士、社労士他
電話来所による相談は随時	障害者と家族 多数	施設入所、年金受給、生活保護、日常生活の支援、就労支援のこと、障害者虐待の訴え	社労士、実務者他

(2) 医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する調査・研究と情報提供、及び各種つどい開催事業
A) 障害者権利条約を日本でも批准し発効した。障害者権利条約を柱として分野ごとに学ぶ。

① 第1回 9月19日(土) 13:30~15:30

ピフレホール A会議室

「社会保障と財源～社会保障の財源がないって ホント?～」

講師 立命館大学 産業社会学部教授 唐鎌 直義氏

参加者 35名

生活保護費の引き下げ、医療/介護等の利用者負担増など、国の社会保障費の削減をおこなっています。世界第3位を誇る日本のGDP(国内総生産)を考えると、「社会保障の財源がないってホント?」と疑問を持ちます。そんな疑問を考え合いました。



② 第2回 11月1日(日)「堀木訴訟提訴45周年記念事業」 チサンホテル神戸

人間のくらしと平和を守る市民集会

記念講演 「社会保障裁判の系譜と現代的意義」 藤原 精吾氏

開催結果について

- ▼ 11月1日(日)、チサンホテル神戸で開催し、記念講演に201名の参加があった。
- ▼ この市民集会は、実行委員会形式で進めることとし、当センターより、協賛金を支出した。



B) 阪神・淡路大震災から21年。被災地として障害者に対する避難の体制がどう整備されたか、どのような課題があるのか整理し、今後どのような体制づくりが必要なのかを考えるために「災害と障害者のつどい」を開催した。

① 障害(難病)を持つ人を対象とした兵庫県か41市町を対象とした「兵庫県か市町の障害者と防災に関する自治体アンケート」を実施した。

② 「災害と障害者のつどい」を開催した。

日程 2016年1月31日(日) 13:00~16:30

会場 神戸市勤労会館 308 会議室

参加者 95名

③ 講演内容は次のとおり

【実践報告】

「土砂災害 そのとき障害者は？ その経験をどう生かすか？」

広島障害フォーラム 事務局長 松田 泰氏

広島市で起こった土砂災害の被害者支援をして感じたこと、今後の対策について話した。



【調査報告】

「要援護者支援に何が必要で、どう整備するか」

～自治体要援護者支援体制をアンケートから読み解く～

神戸大学大学院工学研究科 大西 一嘉氏

震災関連死とは、予備能力が乏しい高齢者や障害者が劣悪な避難環境の間接的原因による死亡をいい、阪神・淡路大震災ではじめて提唱された。震災関連死は在宅で発生することから、減らす対策として医療アクセスの改善、発病者の早期発見、在宅者に対する早期の支援策など避難環境の改善が求められることを報告した。



【基調講演】

「障害による個別的ニーズに基づく支援」

人と防災未来センター研究員 宇田川 真之氏

阪神・淡路大震災の教訓として自分たちがすること、地域で取り組むこと、役所が整備を進めることなど自助、共助、公助が一体となって防災の取り組みが大切である。防災の取り組みで大切なのは、当事者の声が反映された防災計画づくりが求められる。



【実践報告】

「震災関連死から何を学ぶか？」

神戸協同病院 院長 上田 耕蔵氏

震災関連死とは、予備能力が乏しい高齢者や障害者が劣悪な避難環境の間接的原因による死亡をいい、阪神・淡路大震災ではじめて提唱された。震災関連死は在宅で発生することから、減らす対策として医療アクセスの改善、発病者の早期発見、在宅者に対する早期の支援



策など避難環境の改善が求められることを報告した。



c) 情報の提供

- ① ホームページを運営し、学習会や集いの予告などを掲載しました。
- ② 各種事業の計画等の開催に際してニュースを発行し、事業開催の様子を伝えました。

(3) 障害者団体の援助・支援事業

団体の活動への相互参加や情報交換ができること、また団体の活動拠点として役立っています。また、資機材の利用は円滑であり、共同事務所として順調に運営しています。

3 会議報告

① 通常総会の開催

- (1) 日 時 2015年5月9日(土) 14:00~
- (2) 会 場 あすてっぴ KOBE セミナー5
- (3) 出席者 正会員 個人 18名中 出席 11名 委任状 5名
正会員 団体 7団体中 出席 7団体
- (4) 議 事 2014年度の事業報告と収支報告、監査報告について
2015年度 事業計画と予算の承認

② 理事会の開催

- | | | |
|----------|---------------|----------------|
| 第1回理事会 | 2015年4月17日(金) | |
| | 19:00~20:40 | 出席者 8名(委任状 2名) |
| 第2回理事会 | 2015年5月10日(日) | |
| | 10:00~11:20 | 出席者 8名(委任状 2名) |
| 第3回理事会 | 2015年6月12日(金) | |
| | 19:00~21:00 | 出席者 8名(委任状 1名) |
| 理事打ち合わせ会 | 2015年7月31日(金) | |

	19:00~20:30	出席者 3名
第4回理事会	2015年9月3日(木)	
	19:00~21:45	出席者 8名(委任状 2名)
第5回理事会	2015年11月20日(金)	
	19:00~20:50	出席者 8名(委任状 1名)
第6回理事会	2015年1月15日(金)	
	19:00~20:50	出席者 8名(委任状 2名)
第7回理事会	2016年3月25日(金)	
	19:00~20:50	出席者 8名(委任状 2名)

(2) 事務局体制

①事務局長；井上 義治

事務局スタッフ；会計 木村 宏美 庶務 中尾 暁子

②ミーティング

毎週月曜日 10時から1時間程度 1週間の予定等打合せ

(3) 会員

① 正会員 団体 7団体 個人 18名

② 賛助会員 個人 3名

以上